

虎尾桜

に会う桜ウォーク

待ちわびた春を謳歌するように、可憐な花を咲かせる虎尾桜。樹齢六百年を超える県内最大の巨桜が、新緑の福智山の中腹に立っています。

山

の谷間で咲き誇る孤高の一本桜、虎尾桜。高さ17m、幹周り3.8mの希少種エドヒガンで、町の天然記念物に指定されています。杉林の中で映える濃いピンク色の鮮やかな花と圧倒的な存在感で、毎年数千人の花見客を魅了。世話人会の保護で枯死寸前から蘇った物語でも有名です。その虎尾桜を愛でるには、約700mの軽い登山ウォークが必要です。満開は3月下旬〜4月上旬が予想され、開花状況は福智町公式HPで随時更新します。ぜひ今年も息をのむほどの虎尾桜の美しさを仰ぎ見てください。

虎尾桜花見会・史跡探訪

4月2日(日)10時～12時
ウォーターフロント集合
虎尾桜での現地解散
〔参加無料〕

主催：虎尾桜を心配する世話人会

虎尾桜へと向かう分岐点の小川の橋に手すりを備え、滑り止めを補強。福智町が所属する北九州自然休養林保護管理協議会(北橋健治会長)の事業で、より渡りやすく改修しています。



【エドヒガン】

落葉高木で山地に自生し、淡紅色で小ぶりの花を咲かせる希少種。萼筒の元がブクブクふくれてるのが特徴です。

【虎尾桜までのルート】

福智山中腹の谷間、標高400mのところから徒歩で20～30分、700m登ったところにあります。歩きやすい服装でご観賞ください。

